



平和であつてこそ守られる自然・環境

「月桃ゆれて 花咲けば 夏のたよりは南風
緑はもえる うりずんの ふるさとの夏／・・・／6月23日
待たず 月桃の花 散りました 長い長い煙たなびく ふる
さとの夏／・・・／香れよ香れ 月桃の花 永遠に咲く身の花
ごころ 変わらぬ命 変わらぬ心 ふるさとの夏」これは海勢
頭豊(うみせど・ゆたか)作詞・作曲の「月桃(げつとう)」
という歌であるが、この10月5日、新宿の夜に響き渡った▼
海勢頭は沖縄で活躍するシンガーソングライターで、この他に
も「喜瀬武原(きせんばる)」「トラジの花」等の名曲を世に
出しており、平和を切実に訴え掛ける▼この日の新宿での集ま
りは「憲法対談と琉球の音楽」のタベであつたが、対談相手の
参議院議員で憲法学者の高良鉄美が急病のため対談は急きよ取
り止め、実質「海勢頭豊の語りと歌」に。海勢頭ワールドを満
喫し、締め「月桃」を参加者全員で合唱したものだ▼海勢頭
は思想家、歴史家でもある。根本にあるのは絶対平和主義思想
であり、これは沖縄に古より続いてきた龍宮神ジュゴン信仰に
よるものであるとする。ジュゴンが生息してきた辺野古への基
地建設に反対するとともに、若き日に沖縄から平和思想を学ん
で大和に帰り、これをもとに邪馬台国を立ち上げたとする卑弥
呼に学び、今こそ絶対平和主義、憲法九条を守ることを呼びか
ける。海勢頭の思想観、歴史観は『真振(まぶい)』『龍宮神
黙示録』『「琉球文明」の発見』(いずれも藤原書店)に詳し
い▼まさに自然と環境は、平和であつてこそ、平和と一体でし
か守れないことをあらためて実感した夜でもあつた。(土着菌)